

「フロン排出抑制法」を遵守するための
業務用エアコン・冷凍冷蔵機器の管理業務は・・・

国指定唯一の情報処理センター（＊ 法第76条による）

JRECO「冷媒管理システム」

RaMS

Refrigerant Management System



◆フロン排出抑制法を遵守するための管理業務の増加

1. 管理担当者の選任(管理体制の構築)
2. 管理すべき使用機器(第一種特定製品)のリスト作成
3. 点検整備記録簿(ログブック)の作成と整備の記録、保存
4. 機器の適切な設置と適正な使用環境の維持
5. 簡易点検(全ての機器、3ヶ月に1回以上)と定期点検(7.5kW以上の機器)の実施
6. 漏えい時における適切な対処(繰り返し充填の禁止)
7. 機器廃棄時のフロン回収(行程管理票による廃棄処理)
8. 算定漏えい量の算出と国への報告(1,000t-CO₂以上の場合)

「フロン排出抑制法」は遵守するのが大変そうだ！
毎年毎年管理の手間はかかるし…
管理コストもばかにならない…

法令違反となると罰則があります！

それ以上に
企業としての社会的信用を
失いかねません！

◆冷凍空調機器をとりまとめる管理担当者の悩み

●事業所の総務、施設担当者

1. 担当者はいるが、冷凍空調機器だけの専任はおらず他の業務で手一杯
2. 機器毎に整備業者が異なる為、充填証明書・回収証明書も書面でバラバラで紙での保存・管理が負担
3. 算定漏えい量の計算は時間が掛かって大きな負担、リアルタイムで把握することが困難
4. マクロを組んでExcelで計算はしたが、機器を入れ換えたり担当者が変わったら翌年度はできるか不安
5. ISO14001を取得しているけど、「フロン排出抑制法」遵守のエビデンスはどうしたらよいだろうか！！

●地場のスーパーの店長

1. 日々の業務があり、冷凍空調機器のフォローなどできない
2. 本社にまかせている

◆事業所(管理者)の管理業務はRaMSで簡単管理

● RaMSご利用のステップ

1. 管理者としてRaMSに事業所登録(無料)
2. 対象となる使用機器をリストアップし、RaMSに点検整備記録簿を作成(ログブック登録)
3. 整備を発注した充填回収業者がログブックに整備内容を登録
4. 登録された整備内容を管理者として確認・承諾するだけでログブックに記録・保存
漏えい量や点検時期もひと目で確認可能
4. 簡易点検の記録もチェックリストで簡単に記録
5. 機器の廃棄時も電子行程管理票の利用でペーパーレス化

RaMS利用で
カンタン管理!



● RaMSご利用ならではのメリット

1. 機器の設置から簡易点検、定期点検の記録、算定漏えい量の算出、廃棄時の処理まで法律で必要とされる機器の管理業務を電子的に一括管理可能
2. 充填証明書、回収証明書はもとより管理者が法的に管理・保存すべき書面(行程管理票A、E票含)は全て電子的な保存で法的に担保されるので、紙での保存・管理は一切不要
3. 本社としての漏えい量の算定もクリック一つでリアルタイムに集計・出力(無料)
4. 国の指定した唯一の情報処理センター機能を有し、データの機密保持、保存も安全、安心
5. ISO14001(環境マネジメントシステム)の維持管理にも対応
6. データの登録作業は履歴やプルダウンメニューの活用で作業負担を軽減
7. わずかな費用で運用、管理が可能
8. 担当者が代わっても引継ぎが容易

・ログブックの初期登録費用500円又はシール付600円/台(税別)

・更新料100円/台(税別)

ステップ1 RaMSに事業者(利用者)登録

1. 管理者の法定管理者(本社)の名称・住所
2. 施設管理者(事業所)の名称・住所
3. 機器管理従業者の名前(管理担当者)
4. 管理担当者のE-mail
などの必要事項を登録して事業所(利用者)登録完了(無料)
5. ログブックの購入、更新などのポイントを用意する

RaMS利用で
カンタン管理!



ステップ2 RaMSに機器登録(ログブック作成)

1. 管理者の事業所の冷凍空調機器のリストアップ
 2. 機器ごとに基本データ(1表)を入力してログブックを作成
機器のデータシートがあれば一括登録サービスも利用可能(有償)
- ・ログブックの初期登録費用500円又はシール付600円/台(税別)
・更新料100円/台(税別)

ステップ3 RaMSのログブックに整備データの登録

1. 点検・修理(整備)を発注した整備者(充填回収業者)に管理者の事業所コードと機器管理番号を連絡
2. 充填回収業者が当該機器のログブックの2表に整備のデータ(充填量、回収量等)を登録
(システムから充填回収業者に課金100円(税別)/件)
3. システムからの通知にもとづき管理者としてログインして登録内容を確認の上、承諾
4. 承諾された内容は履歴として4表に記録、保存
5. 簡易点検については管理者も登録(入力)可能(無料)

RaMS（冷媒管理システム）

基本機能（情報処理センター機能）

- ・ 充填・回収量を情報処理センターへ登録
- ・ 算定漏えい量集約データ出力

点検・整備記録簿（ログブック）

- ・ ログブック（簡易点検を含む）の記録と保存
- ・ ログブックへの充填・回収量の記録と情報処理センターへの登録を兼用（1回の入力で同時に登録が可能）

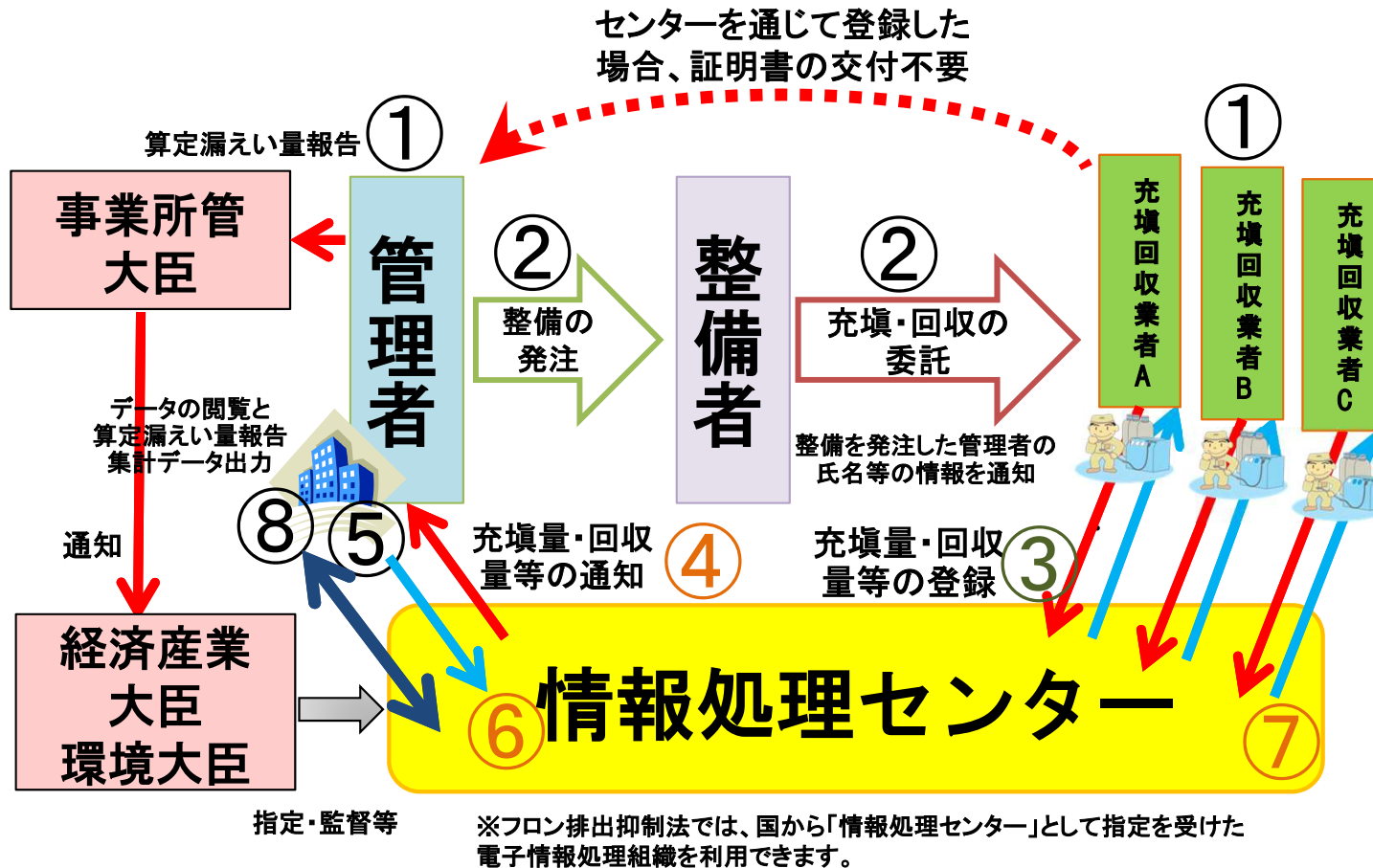
行程管理票の起票・交付・保存

- ・ 機器廃棄時の行程管理票管理
- ・ 機器整備時の回収冷媒と行程管理票の連動

破壊・再生証明書の起票・交付・保存

- ・ 行程管理票のF票より連動

基本機能（情報処理センター）



「情報処理センター」の機能は、充填量、回収量の登録（入力・保存）のみです。

- ①管理者、充填回収業者はシステム（情報処理センター）を利用するために事業所登録を行う。
- ②管理者が充填回収業者に点検・整備（充填・回収）を委託する。
- ③充填回収業者がシステムに充填・回収のデータを入力する。
- ④システムから管理者に入力データの登録承諾依頼メールが送信される。
- ⑤管理者は充填回収業者の入力したデータの確認、承諾を行う。
- ⑥充填・回収のデータがシステムに登録される。
- ⑦システムから充填回収業者に管理者が承諾した旨の確認メールが送信される。
- ⑧管理者はシステム（情報処理センター）に登録されたデータをいつでも閲覧、出力でき算定漏えい量報告に利用できる。

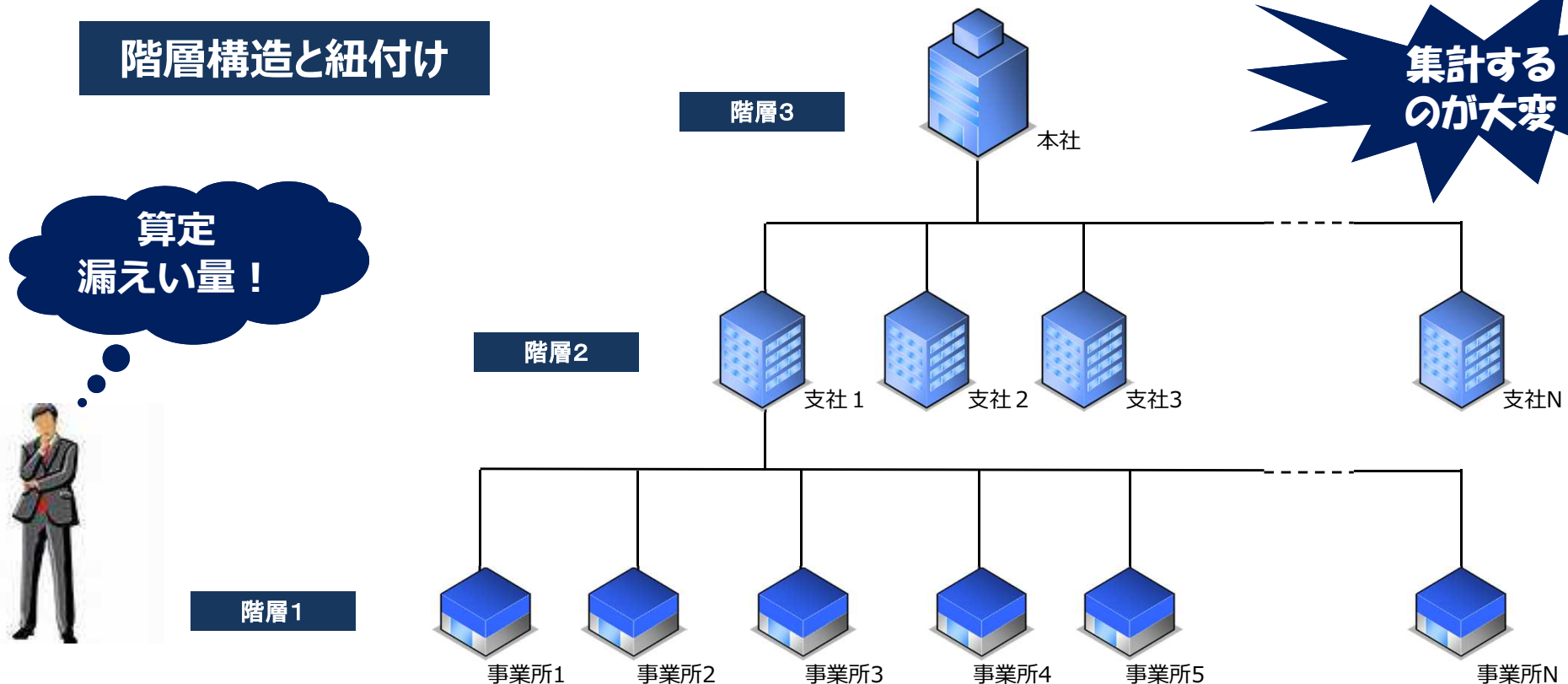
* 情報処理センターについては、管理者は全て無料でご利用いただくことができます。

管理者の算定漏えい量データ出力①

算定漏えい量集計のための統括部署登録

- 管理者は本社、支社を統括部署として登録し、支社、事業所とそれぞれ紐付けることで階層構造（3階層まで）の構築ができます。
- 本社は統括部署として簡単に全社の算定漏えい量を集計、確認することができます。
- 本社は支社、事業所の全データを閲覧できます。

階層構造と紐付け



管理者の算定漏えい量データ出力②

管理者は、充填回収業者により情報処理センターに登録されたデータにもとづき、算定漏えい量報告に必要な情報を以下の出力方式でいつでも利用可能です。

- 1) 全社、統括部、事業所ごとのPDF出力（国への報告に使用可能）
- 2) 編集可能なCSVデータ
- 3) 国の報告書作成支援ツールへ適合したCSVデータ

※ 国指定の様式でのPDF出力例（国への報告に使用可能）

フロン類算定漏えい量の報告書											
											平成28年 2月 29日
											(郵便番号) 105-0001
											住 所 東京都港区芝公園
											1-1
											氏 名 日本冷媒(株)
											電話番号 03-0000-0000
											事業所コード Y724394064
特定漏えい者のフロン類算定漏えい量 (合計はページ全体の合計となっております。)											漏えい年度 平成27年度
フロン類の種類	①R22		②R410A		③R410B		④		⑤		合計
特定漏えい者全体	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)
	126	70	87	42	196	88	0	0	0	0	410
都道府県	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)
1. 千葉県					111	50					111
2. 東京都	72	40	31	15							103
3. 神奈川県	23	13	35	17							59
4. 大阪府	30	17	20	10							51
5. 兵庫県					84	38					84
6.											
7.											
8.											
9.											

ログブック（点検整備記録簿）①

- ログブックを電子的に作成でき、機器の設置から廃棄するまでの履歴を記録・保存できます。
 - ログブックへの充填・回収量の記録と情報処理センターへの登録が同時に行えます。（1回の入力で同時に登録される）
 - 機器一覧で機器ごとおよび全体の算定漏えい量を表示します。
 - 機器一覧で機器ごとの点検時期を色表示させることができます。
 - 登録された機器の一覧をCSV出力することで機器管理台帳等を作成することも可能です。
- * ログブックは有料で初期開設費用が500円（税別）/台（シール付600円（税別））がかかります。また1年を超えてデータ登録を行うときに更新料として100円（税別）がかかります。
- * ログブック利用料金イメージ：機器を100台所有の管理者であれば、
初年度 60,000円、次年度以降 10,000円/年となります。

ログブック（点検整備記録簿）②

ログブックの一覧表示（例）

- ・ 機器ごとの漏えい量が常時把握できます。
- ・ 機器ごとの点検時期を管理することが可能です。

事業所で登録している機器の合計の算定漏えい量と機器ごとの算定漏えい量（累計・**年度**）が常に確認できる。

機器の定期・簡易点検時期にあわせた色表示により点検時期を管理することができる。

No	最終登録	機器管理番号	状態	累計漏えい量	算定漏えい量	最新作業	点検・整備記録簿登録数	施設管理者	系統名	製品分類	製品施設都道府県	最終更新	操作
1	2017-04-06	35VU-V6RH-8258	利用可能	10.45	10.45	2017-04-04	2件 (1件)	日本冷媒 関東支社 港営業所	本館1F店舗	店舗用パッケージエアコン	東京都	2017-04-06	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 閉鎖
2	2017-04-06	4TV5-RCW5-FU3V	利用可能	0.00		2016-03-11	2件	日本冷媒 関東支社 港営業所	本館2F3	内蔵型業務用冷蔵庫	東京都	2017-04-06	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 閉鎖
3	2017-04-06	G7TF-4TSA-VKGN	利用可能(承認待ち)	29.26	418	2017-04-05	5件 (4件)	日本冷媒 関東支社 港営業所	別館1F1	ビル用パッケージエアコン	東京都	2017-04-06	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 閉鎖
4	2017-04-06	KDEW-N3WW-FKT3T	利用可能			2016-12-18	1件 (3件)	日本冷媒 関東支社 港営業所	本館2F3	ビル用パッケージエアコン	東京都	2017-04-06	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 閉鎖
5	2017-04-06	KS56-5F2B-T2KZ	利用可能	89.20		2017-01-11	2件 (5件)	日本冷媒 関東支社 港営業所	本館3F2	ビル用パッケージエアコン	東京都	2017-04-06	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 閉鎖

ログブック (点検整備記録簿) ③

冷媒漏洩点検・整備記録簿 -----年--月--日 ~ -----年--月--日

- 注意1: 冷媒の充填・回収作業は、第一種フロン類充填回収業の知見を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。
- 2: *が付いている項目は必ず入力してください。
- 3: 機器廃棄の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに行程管理票を作成し、最初に機器管理番号を入力してください。

機器管理番号

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報 ...管理者がログインすると、1表に管理者登録情報が自動記入されます。また充填回収業者がログインすると、2表に業者登録情報が自動記入されます。

施設管理者*	<input type="radio"/> 履歴から選択 <input checked="" type="radio"/> 事業者コードから選択 事業者コードを入力してください	事業者コード	法定管理者 (本社等)名・住所
施設名称*	<input type="text"/> 会社情報から取得	系統名	設備製造者*
施設住所*	〒 <input type="text"/> 住所検索 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>	設置年月日	分類*
代表電話	<input type="text"/>	使用機器	用途*
機器管理従事者*	<input type="text"/> 同左電話 <input type="text"/>	型式	製造番号*
E-mail*	追加送信E-Mail: <input type="text"/>	使用冷媒*	圧縮機の原動機 の定格出力

充填回収業者がデータ入力するときの画面。
充填・回収量は情報処理センターにも同時に登録される。

機器廃棄の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに行程管理票を作成し、最初に機器管理番号を入力してください。

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録 ...登録番号、郵便番号を入力すると業者登録情報が表示されます。充填・回収が1表の備考欄に相違するとエラーとなります。一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した量は「戻し充填量」、新たな冷媒を充填した量は「追加充填量」に記入して下さい。破壊再生冷媒がある場合は行程管理票発行も連携できます。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒*	回収量 kg	戻し充填量 kg	追加充填量 kg*	破壊・再生量 kg	点検内容	点検結果
2015-8-1	設置時追加充填量	----						

点検・整備の履歴画面

漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由	修理予定日
備考				
作業請負者社名	所在地			
登録番号	登録都道府県	E-mail		
T123	東京都	@jreco.or.jp		

4. 点検・整備、充填・回収履歴 ...2表に記入された内容が自動転記されます。但し作業請負者情報は表示されません。充填量は、戻し充填と追加充填の合計量です。冷媒量に関する集計結果は3表に表示されます。

状態	伝票番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充填量 kg	点検内容	点検結果	漏洩・故障原因	漏洩・故障箇所	修理内容 (交換部品)	操作
完了	A001	2015-05-15	出荷時初期充填量		10.00						閲覧
			設置時追加充填量		0.00						
完了	A002	2015-06-08	呼出点検	10.00	11.00	システム漏えい試験(加圧漏えい試験)	兆候あり	経年腐食	フレア継手部	膨張弁交換	閲覧 再発行 破棄
			直ちに修理困難な場合はその理由							修理予定日	
			備考	管理担当者による異常音の要望より、現地にて点検。							
完了	A003	2015-07-30	定期点検	0.00	10.00	システム漏えい試験(気密試験)	なし	振動・共振	フレア継手部	増し締め	閲覧 再発行 破棄
			直ちに修理困難な場合はその理由							修理予定日	
			備考								
完了	A004	2015-07-30	定期点検	0.00	10.00	システム漏えい試験(気密試験)	なし	振動・共振	ろう付け部	フレアアダプタ使用	閲覧 再発行 破棄
			直ちに修理困難な場合はその理由							修理予定日	
			備考								

3. 冷媒の充填、回収状況 ...確認画面を表示すると自動計算されます。「初期総充填量」は出荷時初期「合計排出量」は「合計充填量」と「合計回収量」の差です。

充填冷媒	(参考) 温暖化係数	初期総充填量 kg	合計充填量
---	---	---	---

4. 点検・整備、充填・回収履歴 ...2表に記入された内容が自動転記されます。但し作業請負者情報は表示されません。

状態	伝票番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充填量 kg	点検内容

ログブック（点検整備記録簿）④

ログブックには簡易点検の記録と保存もできます。（無料）

冷媒漏洩点検・整備記録簿				2015年2月5日～----年--月--日			
<small>注意：冷媒の充填・回収作業は、第一種ガス類充填回収業の知識を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。 *が付いている項目は必ず入力してください。</small>							
1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報						機器管理番号	EB4M-PTRK-M6GH
施設管理者	日本冷媒 関東支社 神奈川営業所 〒220-0001 横浜市西区高倉2-2	事業者 コード	H620322968	法定管理者 (本社等) 名・住所	日本冷媒(株) 〒105-0001 東京都港区芝公園1-1		
施設名称	ビル	系統名		設備製造者	新宿電気 (株)		
施設住所	〒160-0000 住所検索 [東京都] 住所1 新宿区二十騎町 住所2.5	設置年月日		分類	冷凍冷蔵ユニット		
代表電話	03-7940-6394	用途	冷凍用・プロセス冷却用	製造番号	55555		
機器管理 従事者	高柳和秀	同左電話		型式		圧縮機の原動機 の定格出力 kW	
E-mail	test3@test.com 追加E-Mail:	使用 冷媒	R22	出荷時初期 充填量 kg	10.00		
2. 簡易点検記録							
作業年月日*	2016-2-10	簡易点検フォーマット*	冷凍冷蔵倉庫	点検者名*			
1. 庫内温度の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-1. 高圧の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-2. 低圧の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-3. 油圧の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-4. 油面の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-5. 電流の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
2-6. 電圧の記録	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
3. 冷却水出入口温度(水冷式)	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
4. 機器周辺の油のこじみ (冷凍機本体、空冷室外機外観、配管)	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
5. 受液器液面計の冷媒液面は標準レベルになっているか	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
6. 機器の異常振動・異常運転音、冷凍機の異常発停	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
7. 冷凍冷蔵庫内冷却器の霜付き、油のこじみの有無	<input type="checkbox"/>	チェック	コメント:				
8. 漏えい兆候	<input type="checkbox"/>	なし	コメント:				
9. 気付き事項	<input type="checkbox"/>	コメント:					

フォーマットの点検
した項目にチェック
を入れるだけで簡単
に記録できます。

電子行程管理票①

- 機器の廃棄時に必要な行程管理票について、電子行程管理票を利用すれば電子的に管理できます。(有料：100円（税別）/回)
- 紙の行程管理票と全く同じフォーマットで電子的な運用と回収依頼書や引取証明書の電子的な保存が可能です。

A票

A票		伝票番号 A0000514	
		交付年月日 2016-03-18	
回収依頼書			
■廃棄又は整備する機器の所有者等			
廃棄			
機器所有者の氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所	廃棄する機器がある施設(建物)名	東京都庁
上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園	上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園
担当責任者	部署名 設備管理部	氏名	東京
電話番号	03-6733-6311	FAX番号	03-6733-6312
廃棄又は整備する機器の種類および台数	建物解体(含む廃話・機殻等)の有無		
エアコンディショナー 4台	解体(廃話等)なし		
冷蔵庫および冷凍機器 0台			
フロン等の引渡し先	第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する		
■第一種フロン類充填回収業者			
第一種フロン類充填回収業者登録番号	T12321	回収する都道府県	東京都
フロン類引取完了年月日		引取証明書交付年月日	
変更回収業者の氏名または名称	環境保全機工(株)	回収技術者氏名	
上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園		
担当責任者	部署名	氏名	
電話番号	03-0000-0000	FAX番号	03-0000-0000
■コメント欄			
コメント			

E票

E票		伝票番号 A0000514	
		交付年月日 2016-03-18	
引取証明書			
■廃棄又は整備する機器の所有者等			
廃棄			
機器所有者の氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所	廃棄する機器がある施設(建物)名	東京都庁
上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園	上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園
担当責任者	部署名 設備管理部	氏名	東京
電話番号	03-6733-6311	FAX番号	03-6733-6312
廃棄又は整備する機器の種類および台数	建物解体(含む廃話・機殻等)の有無		
エアコンディショナー 4台	解体(廃話等)なし		
冷蔵庫および冷凍機器 0台			
フロン等の引渡し先	第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する		
■第一種フロン類充填回収業者			
第一種フロン類充填回収業者登録番号	T12321	回収する都道府県	東京都
フロン類引取完了年月日	2016-03-18	引取証明書交付年月日	2016-03-18
変更回収業者の氏名または名称	環境保全機工(株)	回収技術者氏名	回収
上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園		
担当責任者	部署名 回収部	氏名	回収
電話番号	03-0000-0000	FAX番号	03-0000-0000
■回収量等			
フロン回収量	フロン回収量		管理番号:
下記のとおりフロン類を回収しました。			
	OFC		HCFD
	台	kg	台
			kg
	台	kg	台
			kg
	台	kg	台
			kg
	計		計
廃物に記録されている廃棄量			
フロンが回収できなかった場合の要因及び台数	要因		
■コメント欄			
コメント			

電子行程管理票②

ログブックの機器管理番号の入力で簡単に起票することが可能

A票

伝票番号
 交付年月日 --
入力日の日付を記入

回収依頼書

■廃棄又は整備する機器の所有者等

廃棄 機器整備/修理
…機器の廃棄ではなく、整備/修理に伴う冷媒回収の場合は「機器整備/修理」を選択する

機器所有者の氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所	廃棄する機器がある施設(建物)名	オランダ村神谷町支店
上記の住所	〒105-0011 <input type="text"/> 住所検索 住所1 東京都港区芝公園 住所2 <input type="text"/>	上記の住所	〒105-0011 <input type="text"/> 住所検索 東京都 <input type="text"/> 住所1 港区芝公園 住所2 <input type="text"/>
担当責任者	部署名 <input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
電話番号	00-0000-0000	FAX番号	00-0000-0000
廃棄又は整備する機器の種類および台数		建物解体(含む修繕・模様替え)の有無	
エアコンディショナー 0 <input type="text"/> 台		<input type="radio"/> 解体(修繕等)あり <input checked="" type="radio"/> 解体(修繕等)なし	
冷蔵機器および冷凍機器 0 <input type="text"/> 台			
フロン等の引渡し先 <input checked="" type="radio"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する <input type="radio"/> 取次者に委託する			

機器管理番号

機器管理番号 N2X3 5LLX RAUT

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号	回収する都道府県	
フロン類引取完了年月日	引取証明書交付年月日	
充填回収業者の氏名または名称	回収技術者氏名	
<input checked="" type="radio"/> 履歴から選択 <input type="radio"/> 都道府県登録番号から選択 <small>回収業者を選択してください</small> <input type="text"/>		
上記の住所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> 住所1 <input type="text"/> 住所2 <input type="text"/>	
担当責任者	部署名 <input type="text"/>	氏名 <input type="text"/>
電話番号 <input type="text"/>	FAX番号 <input type="text"/>	

電子行程管理票を起票する際に機器管理番号を入力するとほとんどの項目が自動的に転記入力される。

また当該機器のログブックも自動的に閉鎖される。

機器の設置から廃棄まで、機器の管理が電子的システムで一貫して行える。

電子行程管理票③

取次者を2社まで加えての利用がシステムを介して可能

○票		伝票番号	A00000778	
		交付年月日	2016-12-12	
委託確認書（再委託承諾書）				
■廃棄又は整備する機器の所有者等			機器管理番号 N2X3-5LLX-RAUT	
廃棄				
機器所有者の氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所		廃棄する機器がある施設(建物)名	オランダ村神谷町支店
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園		上記の住所	〒105-0011 東京都 港区芝公園
担当責任者	部署名 施設管理部		氏名	港太郎
電話番号	00-0000-0000		FAX番号	00-0000-0000
廃棄又は整備する機器の種類および台数			建物解体(含む修繕・模様替え)の有無	
エアコンディショナー 0 台			解体(修繕等)なし	
冷蔵機器および冷凍機器 1 台				
フロン等の引渡し先	取次者に委託する			
■取次者1				
取次者の氏名または名称	一次取次社(株)		回付年月日	
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園			
担当責任者	部署名 整備部		氏名	一次花子
電話番号			FAX番号	
フロン等の引渡し先	取次者2に再委託する	廃棄機器所有者の再委託の承諾		承諾年月日
		氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所	管理責任者名
■取次者2				
取次者の氏名または名称	二次取次社(株)		回付年月日	
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園			
担当責任者	部署名		氏名	
電話番号			FAX番号	
フロン等の引渡し先	第一種フロン類充填回収業者に依頼する			

取次者1

取次者2

電子行程管理票④

整備時に回収したフロン類を破壊・再生処理に回す際も
点検・整備記録簿から連携して処理票の作成が可能

「行程管理票を作成する」ボックスにチェックを入れるとF票
から処理票の作成が行える。

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録 …登録番号、都道府県を入力すると業者登録情報が表示されます。充填冷媒が1表の使用冷媒と相違するとエラーとなります。
一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した量は「戻し充填量」に、新たな冷媒を充填した量は「追加充填量」に記入して下さい。
破壊再生冷媒がある場合は行程管理票発行も連携できます。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒*	回収量 kg*	戻し充填量 kg*	追加充填量 kg*	破壊・再生量 kg*	点検内容*	点検結果*
2016 ▾ 10 ▾ 30 ▾ 入力日の日付を記入	定期点検 ▾	R410A ▾	20.00	0.00	20.00	20.00 <input checked="" type="checkbox"/> 行程管理票を作成する	システム漏えい試験(気密試験) ▾	なし ▾
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容			直ちに修理困難な場合はその理由		修理予定日	
ろう付け部 ▾	経年劣化(摩耗) ▾	ろう付け補修 ▾					---- ▾ -- ▾ -- ▾	
備考								
作業請負者社名		所在地			作業担当者*		資格者証	
山田回収業(株) 東京都 ▾		〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1						
登録番号	登録都道府県	E-mail		代表電話				
T123	東京都	torii@jreco.or.jp		03-1111-1111				

電子行程管理票⑤

電子行程管理票のF票から連動して処理依頼伝票が作成可能

作成された破壊・再生処理依頼伝票は、破壊・再生業者へ電子的に送られ、処理業者の処理後、破壊・再生証明書が電子的に交付されます。

F票				引取証明書(写)				回収フロン処理証明書(処理の記録)							
				伝票番号	A00000709										
				交付年月日	2016-07-27										
■廃棄又は整備する機器の所有者等				廃棄				■回収冷媒等							
機器所有者の氏名または名称	日本冷媒 関東支社 東京事業所			廃棄する機器がある施設(建物)名	東京ビル			フロンの種類の内訳							
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園			上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園			R	回収量 (kg)	回収容器番号	区分	R	回収量 (kg)	回収容器番号	区分
担当責任者	部署名 施設			氏名	港			R410A	8.00	環境R117	破壊				
電話番号	00-0000-0000			FAX番号	00-0000-0000										
廃棄又は整備する機器の種類および台数				建物解体(含む修繕・役替替え)の有無											
エアコンディショナー 1台				解体(修繕等)なし											
冷蔵庫および冷凍機器 0台															
フロン等の引渡し先				第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する											
■第一種フロン類充填回収業者															
第一種フロン類充填回収業者登録番号	T12321			回収する都道府県	東京都										
フロン類引取完了年月日	2016-07-29			引取証明書交付年月日	2016-07-29										
充填回収業者の氏名または名称	環境保全機工(株)			回収技術者氏名	環境太郎										
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園														
担当責任者	部署名 整備回収部			氏名	環境太郎										
電話番号	00-0000-0000			FAX番号	00-0000-0000										
■回収量等															
フロン回収量	フロン回収量														
下記のとおりフロン類を回収しました。				紙伝票番号: 管理番号:											
	CFC		HCFC		HFC		計								
	台	kg	台	kg	台	kg	台	kg							
エアコンディショナー					1	8.00	1	8.00							
冷蔵庫および冷凍機器															
計					1	8.00	1	8.00							
銘板に記載されている充填量															
フロンが回収できなかった場合の要因及び台数				要因											
								■処理方法及び処理量							
									CFC(kg)	HCFC(kg)	HFC(kg)	計(kg)			
								1:50%あたり書き再生							
								2:破壊			8.00	8.00			
								3:再生							
								4:省令49条業者認定管理センター							
								5:保管							
								■破壊業者名称							
								処理業者が選択出来ない場合は、処理業者がこのシステムに登録してない可能性があります。関係業者へは登録しておく必要があります。							
								<input type="radio"/> 全部から選択 <input checked="" type="radio"/> 履歴から選択 <input type="radio"/> 認定許可番号から選択 <input type="radio"/> 事業所コードから選択							
								名称	デストロイヤー(株)						
								認定許可番号	D1040054						
								住所	〒105-0011 住所1 東京都港区芝公園 住所2						
								電話番号	FAX番号						
								破壊業者引渡年月日	2016-8-2 入力日の日付を記入						

電子行程管理票⑥

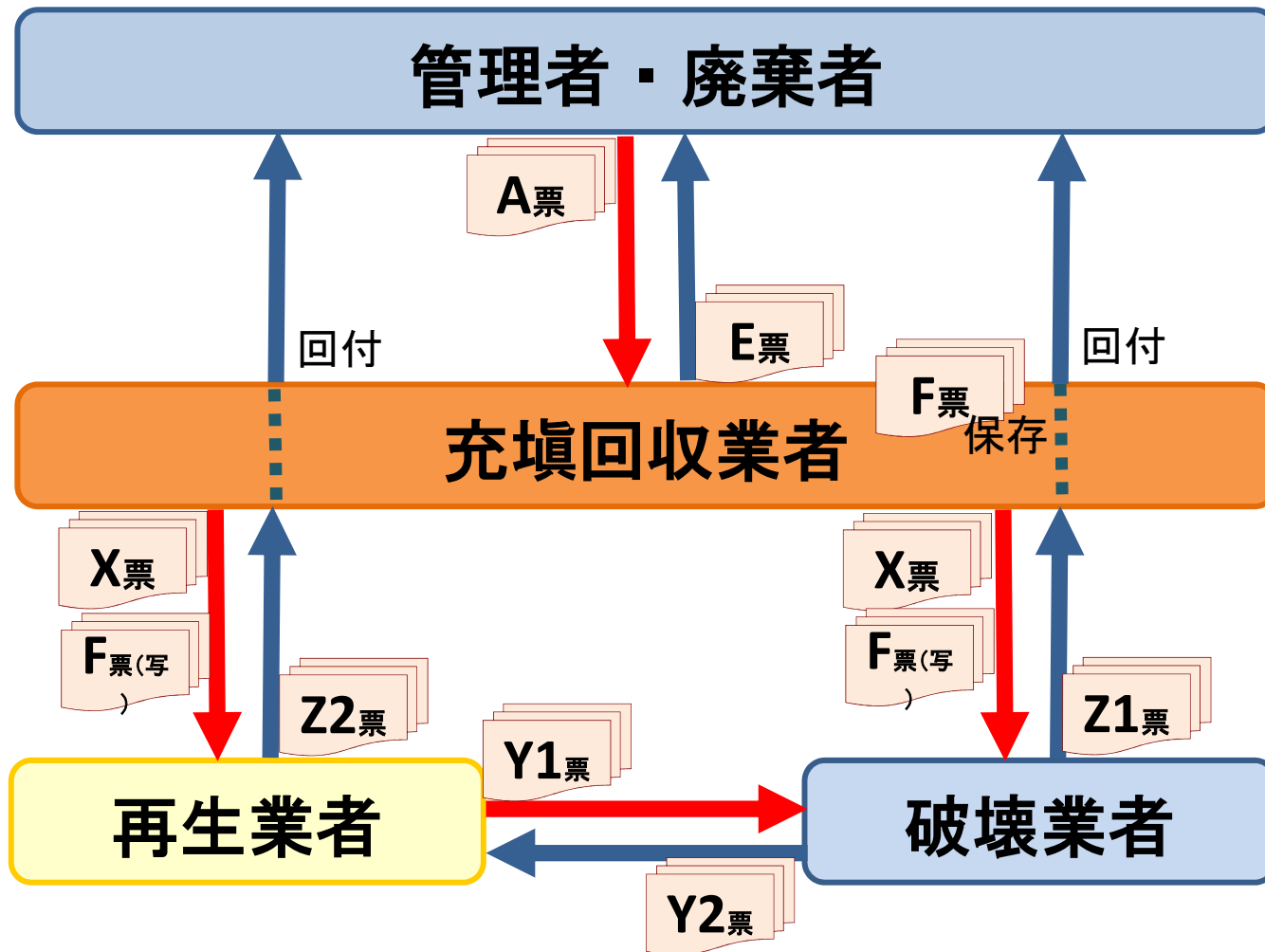
行程管理票（伝票）の保存・管理が電子的に簡便に可能

電子的に処理されるため伝票や登録したデータは、「行程管理票一覧」よりいつでも確認することができ、記録・管理・保存されるので紙の出力、保存は不要です。

No	伝票番号	元伝票番号	モード	状態	交付 年月日	引取 完了日	廃棄する 機器の所有者	廃棄機器 都道府県	充填回収 業者 都道府県	廃棄の 種類	フロン類の 引渡先の種類	操作
1	A00000778		通常	取次者1へ依頼済み／取次者2へ渡す前	2016-12-12		日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都		廃棄	取次者に委託する (再)	表示 破棄
2	A00000761		通常	新規に廃棄者へ回付中 (承認待ち)	2016-11-15		日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	廃棄	フロン類充填回収 業者に直接依頼する	表示 破棄
3	A00000760		通常	F票まで完了	2016-11-15	2016-11-15	日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	廃棄	フロン類充填回収 業者に直接依頼する	表示 破棄
4	A00000750		通常	F票まで完了 処理票あり	2016-10-25	2016-10-25	日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	機器整備/修理	取次者に委託する	表示 破棄 処理票一覧
5	A00000749		通常	再発行後の破棄	2016-10-19	2016-10-19	日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	機器整備/修理	フロン類充填回収 業者に直接依頼する	表示 コピー
6	A00000724		紙モード	F票まで完了	2016-08-31	2016-08-31	日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	機器整備/修理	フロン類充填回収 業者に直接依頼する	表示 破棄
7	A00000722		通常	F票まで完了	2016-08-30	2016-08-30	日本冷媒 関東支社 東京事業所	東京都	東京都	廃棄	フロン類充填回収 業者に直接依頼する	表示 破棄

電子行程管理票⑦

破壊・再生証明書起票・交付・保存



A票 : 回収依頼書

E票 : 引取証明書

F票 : 引取証明書(写)

X票 : フロン類再生・破壊依頼書

Z1票 : 破壊証明書

Z1票 : 再生証明書

Y1票 : 再生を行わなかった

フロン類の破壊依頼書

Y2票 : 再生を行わなかった

フロン類の破壊依頼受取・
処理証明書

利用メリット①

漏えい量の算定が簡単

煩雑な集計作業から解放されます。
いつでもリアルタイムで算定漏えい量の把握ができます。
クリックひとつで国指定の様式でプリントできます。

機器管理リストで一括管理

事業所ごとの機器管理リストを表示することで
点検時期や漏えい量が簡単に確認できます。

最大3階層で事業所を統括管理

機器を所有する事業所をシステム上、最大3つの
階層で簡単に紐づけすることができます。
本社の担当者の集計等の負担が軽減できます。

ログブロックで効率的に電子的管理

紙や独自の記録簿への記録・管理から解放され
効率的に電子的に管理することができます。

システムで機器の廃棄や引渡しも実現

機器の廃棄に関わる行程管理票の起票などができ
再生・破壊証明書の回付も受け付けることができます。

必要な書類の電子的一括管理

書類の交付、保存のすべてを電子的に行うことができ
紙による保存・管理から解放されます。

充填回収業者によるデータ入力が可能

法律で規定された「情報処理センター」への登録も含め
整備を行った充填回収業者がいつでもどこでも
入力可能です。

管理担当者が変わってもスムーズな業務移行

前任者の異動、退職時もRaMSを利用してれば、
簡単、便利、安心です。

利用メリット②

ISO14001(環境マネジメントシステム:EMS)の維持管理での利用

ISO14001の維持としての法遵守

ISO14001(環境マネジメントシステム:EMS)を維持するためには、法の遵守が必要です。当然ながら、今回の「フロン排出抑制法」で管理者に対する要求事項である判断基準に対してのエビデンスを保存管理することが必要です。

「フロン排出抑制法」遵守のためのエビデンス

1. 冷凍空調機器の管理リストの作成
2. 点検整備記録簿の作成と管理
3. 定期点検と簡易点検の実施の有無
4. 機器廃棄時の行程管理票の保存
5. 機器廃棄時・機器整備時の冷媒の破壊証明書または再生証明書
6. 算定漏えい量の計算と国への報告必要有無の判断とした計算値
7. 充填証明書と回収証明書(当該年度分)

RaMS利用による効率的な管理の実現

ISO14001(環境マネジメントシステム:EMS)を維持する中で「環境側面」として、「フロン排出抑制法」遵守は必要です。RaMSを利用することで、この法遵守において抜けがなく効率的に管理することができます。

また、管理者自身の管理状況をエビデンスとともに確認することができます。

利用料金（税別）

RaMSの利用で冷媒管理に関わるほぼすべての業務を一括管理できるため、これまで煩雑で多大な業務にかかっていたコストと時間を削減できます。

RaMS機能

情報処理センター機能

基本機能

- ◆ 各事業所など、会社情報を登録する（無料）
- ◆ 充填・回収量を情報処理センターへ登録（100円／回）・・・登録する充填回収業者が負担
- ◆ 算定漏えい量データ出力（無料）

点検・整備記録簿（ログブック）

- ◆ ログブック番号購入（シール600円、番号のみ500円）
- ◆ ログブックの記入と保存（簡易点検記録簿含む）
⇒ログブック記入（100円／回）、簡易点検（無料）
- ◆ ログブックへの充填・回収量記入による、情報処理センターへの登録兼用
* 充填・回収登録の費用は充填回収業者が支払うため、管理者の直接の負担はありません。
- ◆ ログブックの更新料（100円／年）

行程管理票起票・交付・保存

- ◆ 機器廃棄時の行程管理票起票（100円）
- ◆ 機器整備時の回収冷媒と行程管理票の連動（無料）

終



JRECO冷媒管理システム RaMS（ラムズ）のお問い合わせ先
一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 情報システム部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp